

56. 地文学

佐藤傳藏著 東京六盟館蔵版 (1902)  
定価 75 銭  
復刻版 日本地質学会環境地質研究委員会発行  
(1992)  
B 5 版 p.185



目次

第一篇 地球星学

- 第一章 太陽系統
- 第二章 地球の運動
- 第三章 地球の形状及大きさ
- 第四章 地球の測定
- 第五章 地磁気

第二篇 陸圏学

- 第一章 陸地の配布及種類
- 第二章 陸地の変動
  - 第一節 地熱力
  - 第二節 外力

一 水的作用

水的作用、泉及地下水、透水層、不透水層、充溢泉、裂罅水、層泉、鑽井、  
泉水の化学的作用、石灰洞窟、泉水の器械的作用、山崩れ、河流、河口、三角口  
三角洲、河流的作用、浸蝕作用、運搬作用、流水の建設的作用、湖沼、湖沼の成因  
湖沼的作用、氷河、氷河の配布、氷河の運搬、堆石、氷河的作用、過去の氷河、  
冰山、氷山的作用、海水の浸蝕作用、海水の沈殿作用

二 空気的作用

三 生物的作用

第三篇 気圏学

- 第一章 大気の性質及び作用
- 第二章 大気の温度
- 第三章 気圧
- 第四章 空気の流動即ち風
- 第五章 大気の湿度
- 第六章 気圏の光学上の現象
- 第七章 天気及気候

第四篇 水圏学

第一章 海面

## 地下水ブックガイド

第二章 海底

第三章 海水の性質

第四章 海水の運動

第五篇 生物地理学

第一章 生物の分布

第二章 人類

(第二篇陸圏学 第二章陸地の変動 第二節外力 一水の作用については項目まで記載)

---

### 紹介コメント

本書は明治 35 年（1902）中学校等のいわゆる理科の教科書として当時の文部省による内容指定に沿って佐藤傳藏が編纂したものを、平成 4 年（1992）に日本地質学会環境地質研究委員会が再生・復刻したものである。同委員会も指摘しているが、百年以上前に既に日本国民の必要な知識として地球環境の項目に灯火が点り、その中に地下水に関わる知識も位置づけられていた。

資源及び環境要素として近年地下水の重要性が増しているにも関わらず、学校教育では“ゆとり教育”の名のもとに地下水の項目は教科書から姿を消し、地下水に関する知識は現在の日本国民の頭から欠如してしまっている。